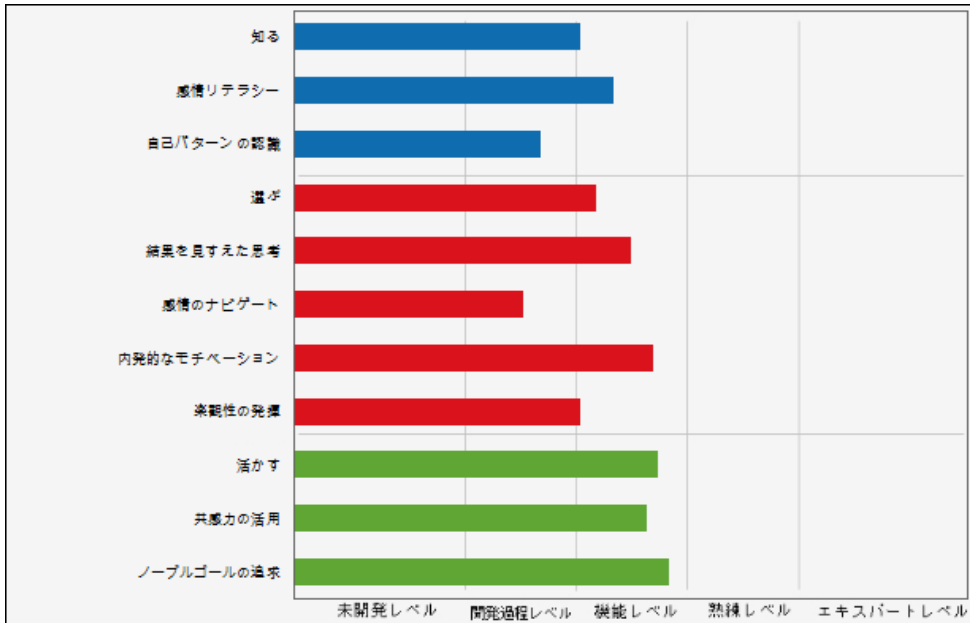


例 佐藤さん（仮名：IT 企業勤務、オペレーションマネジャー）



この結果をプロファイリングしてみましょう。

8つのコンピテンシーの組み合わせを見てみると、**佐藤さんには二つの特徴が見受けられます。**

一つ目の特徴は「**共感力（高い） + 感情のナビゲート（低い）**」の組み合わせです。このような状況にある場合、ややもすると他者の感情に引きずられる傾向がでできます。

二つ目の特徴は「**結果を見すえた思考（高い） + 内発的なモチベーション（高い） + 楽観性の発揮（低い）**」の組み合わせです。この組み合わせは眼前の状況や課題がコントロール可能と思えるものだけ積極的にかかわり、自分の手には負えないと思ったケースでは早々に諦めてしまう傾向を見せます。

そんな時は、「ノーブルゴールの追求」の高レベルを自分の強みとしてとらえ、日常意識して活用することです。

つまり、佐藤さんは「長期的な視点に立って、自分は何を成し遂げたいのか」を自問できるのだから、何か困難に直面したときは、「自分の究極のゴールはどこにある」と自問自答してみることを勧めます。

自らのノーブルゴールを意識しながら「結果を見すえた思考」を心がけることができるようになると、合わせて「楽観的な思考スタイル」を身につけ、必要に応じて発揮できるようになります。